

## 代表理事あいさつ

2005年10月23日にコミュニティ・ユース・バンク momo が産声を上げて以来、この7月で3回目の定時総会を迎えることとなりました。momo 正会員のみなさまには、いつもご支援いただきまして、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

振り返れば、必ずしも順風満帆の船出ではありませんでした。例えば、法規制の問題では、06年に施行された金融商品取引法、07年に施行された改正貸金業法によって、NPOバンクはいまも存続の危機にさらされています。非営利で金融を営むことがこれほどまで許されない世の中なのか、と痛感している次第です。

しかし、このような状況下においても、momo は小さな一歩を踏み重ねてきました。設立して2年半で出資総額は2000万円を超え、07年から開始した融資では、持続可能な地域づくりに取り組む事業家とつながり、会員のみなさまと融資先を訪問するツアーもスタートしています。また、07年度は環境省のコミュニティ・ファンド事業に採択され、NPOバンクを運営していく上で求められる専門性を高める機会にも恵まれました。

さらには、持続可能な地域をつくっていくためにはその地域の未来を担う若者が学び、成長していく場が必要であると、「信用」「信頼」が求められる金融に若者をつなげる役割を果たしてきました。現在は20名以上のmomo レンジャーが活動に参画し、momo で出会ったコミュニティビジネスに転職をしたり、今年度はmomo の理事に立候補する若者も現れています。こうした歩みは決して速くはありませんが、設立当初に思い描いていたことが少しずつ現実となり始めていることに、大きなやりがいを感じています。

このように一歩、また一歩と進めていく中で、「NPOバンクで生計を立てられる世の中にしたい！」という想いが日に日に強くなっていることを実感しています。単純に金利収入だけで人を雇おうとすれば、「高金利で融資する」か「融資量を増やす」かの2つしか選択肢はありませんが、高金利ではNPOバンクとはいえませんし、たくさん融資すればその分顔の見える関係を維持できなくなってしまいます。海外に目を向ければ、「地域課題の解決にはコミュニティバンクが必要だ」という社会的なコンセンサスがあり、「大きいものをよしとする」いまの日本の金融行政に一石を投じる取り組みでもあり、実感せずにはいられません。

NPOバンクで生計を立てられる世の中にしていくためには、法制度の整備はもちろんのこと、審査能力や融資先へのマネジメント支援力など、私たちの専門性をより一層高める必要があります。また、地域経済や非営利ビジネスに関する調査・研究を行い、地域の課題を解決するためには、NPOバンクという手段が有効であることを実証していかなければなりません。

また、若者にこだわるmomoとしては、若い人たちがmomoを通して学び、気づき、行動していく中で、これまで以上に「地域のために働く人材」を輩出していくことはもちろん、「自ら事業を起こし、momoから融資を受ける」といった事例や、「momoでの経験を基にNPOバンクを立ち上げる」といった事例を生み出すことを夢見たりもします。

持続可能な社会を構築するためには、その社会を構成する一つひとつの地域が持続可能になることが不可欠です。そんな「コミュニティ（地域）」のカギを握るのは「ユース（若者）」と「バンク（金融）」であることを信じ、momoはこれからも小さな一歩をゆっくりと、着実に踏み出してまいります。今年度もご支援のほど、よろしく願いいたします。

2008年7月吉日

コミュニティ・ユース・バンク momo  
代表理事 木村 真樹

# コミュニティ・ユース・バンク momo

## 2007 年度事業報告

### 1. 出資金の募集

momo の取り組みをいつでもご紹介できるようにパンフレットを持ち歩き、momo に共感いただけただ方には出資をお願いするなど、一つひとつの出会いを大切にしてきた結果、07 年度末の正会員数は 203 名（うち個人 195 名、団体 8 名）、出資総額は 2,248 万円となりました。

また、50 口以上の出資を希望される方には、momo の理念や現状、元本割れのリスク等を必ず電話等で改めてご説明させていただき、momo のことをご理解いただいた上で出資いただくようにしています。

なお、06 年度末で出資総額が 1000 万円を超えたため、ペイオフ（金融機関が破綻した際の処理方法のひとつ）対策として決済性預金の口座を開設しました。同預金だと利息はつきませんが、金融機関が破綻しても正会員のみなさまの出資金は全額保護されます。

#### 【出資金残高】

	06 年度末	07 年度末目標(A)	07 年度末実績(B)	前年度比	差(B)-(A)
正会員(個人)	119	190	195	+76	5
正会員(団体)	5	20	8	+3	△12
出資金(口)	1,062	2,000	2,248	+1,186	248

### 2. 正会員への融資

#### (1) 融資の実施

##### ① つなぎ融資（補助金などが交付されるまでの資金のつなぎ／随時受付）

07 年 5 月 15 日に実施した NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム（愛知県名古屋市）へのつなぎ融資は、同年 7 月 13 日に完済されました。

##### ② 第 1 回融資（申込受付期間：07 年 3 月 1 日～4 月 30 日）

お申し込みいただいた 4 件に対し、5 月から 6 月にかけて書類審査、面談（一次審査）、訪問調査を行い、6 月 16 日に momo 事務所で開催した融資審査委員会及び理事会（最終審査）にて NPO 法人こうじびら山の家（岐阜県郡上市）への融資を決定しました。

##### ③ 第 2 回融資（申込受付期間：07 年 9 月 1 日～10 月 31 日）

融資説明会（10 月 16 日に環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部／愛知県名古屋市）、同月 20 日にぎふ NPO プラザ（岐阜県岐阜市）で開催）や、Web サイトやメール、チラシ等での告知の結果、計 3 件のお申し込みをいただきました。11 月 3 日に書類審査、同月 23 日に面談（一次審査）を実施し、面談を通過した 2 件には 12 月上旬に訪問調査を行い、その報告を踏まえた最終審査の結果、石井伸弘さん（岐阜県本巣郡北方町）と NPO 法人ぎふ NPO センター（岐阜県岐阜市）への融資を決定しました。

【融資実施数】

	06年度末	07年度末目標(A)	07年度末実績(B)	前年度比	差(B)-(A)
融資件数	2	10	5	+3	△5
融資金額(万円)	200	1,400	550	+350	△850

【2007年度融資先一覧】

融資先名	事業拠点	事業名	融資金額(千円)	融資期間	年利(%)	備考
NPO 法人 エコデザイン 市民社会 フォーラム	愛知県 名古屋市	平成18年度民生部門等地球温暖化対策実証モデル評価事業「名古屋圏に置くエコポイントを活用したMMモデル事業」	1,000	2007年5月15日～ 2007年7月13日	2.0	2007年7月13日に全額一括返済
NPO 法人 こうじびら 山の家	岐阜県 郡上市	伝統的な生活文化伝承支援活動／グリーンツーリズム推進事業／定住者増加促進事業	1,500	2007年9月3日～ 2010年9月1日	2.5	
石井伸弘	岐阜県 本巣郡 北方町	岐阜市及びその周辺における無農薬・無化学肥料による生鮮野菜の生産と提供	500	2007年12月25日～ 2008年11月1日	2.5	
NPO 法人 ぎふ NPO センター	岐阜県 郡上市	マイクロ水力発電によるエネルギー自給モデル構築事業	1,500	2008年1月4日～ 2010年8月1日	2.5	

(2) 融資実施後のフォローアップ

融資実施後の経過を把握するため、融資先の活動に適宜参加し、ともに学び合う関係を築いてきました。また、返済期日を厳守いただくためにも、連絡を密に取り合っています。これまでに返済の遅延は発生していません。

また、代表理事の木村真樹が参画している08年5月からスタートした「東海若手起業塾」(※)に、NPO 法人こうじびら山の家・代表理事の北村周さんが支援対象者として選抜され、北村さんの支援コーディネーターを木村が担当しています。

※ 「東海若手起業塾」とは？

地域の課題解決や地域資源の有効活用を通じて、東海地域を活性化したいと考えている若手起業家を対象に、ビジネスモデルや事業戦略の質を高め、事業を成長軌道に乗せていくための支援プログラム(主催:「東海若手起業塾」実行委員会、協賛:ブラザー工業株式会社)。

3. 啓発・広報及び情報提供

(1) 会員用メーリングリストの運営

融資先の現状やイベント案内、月次の出資・融資状況などをお知らせする「momo レポート」(月1回配信)を中心に、07年度は計37回、会員のみなさまにmomoの最新情報をお届けしました。08年5月末現在、メーリングリストの登録者数は193名です。

(2) Webサイトの運営

07年度は「融資先事業レポート」と「momo通信」のページを新設しました。また、出資申込時にいただいたメッセージ「出資者の声」やレンジャーの活動報告ブログなどを随時更新しました。ブログの訪問者数は8,657件(08年6月末現在)となっています。

### (3) ニュースレターの発行

07年8月、11月、08年2月、5月の4回、ニュースレター「momo通信」(A4判、各8ページ、モノクロ)を発行しました。理事が交代で担当する巻頭コラム、地域金融をテーマとした連載、融資に関する最新情報のほか、地域の事業者をリレー形式でご紹介する「momoなひと」や、地域に根ざした先駆的な取り組みをご紹介する「特集」を通して、地域のみなさまと少しずつつながりをつくってきました。

発行部数は毎回約600部で、情報会員(年会費2,000円)のみなさまへ送付したほか、中間支援組織やイベント、手渡し等でも配布し、momoの広報活動の中心を担ってきました。

#### 【情報会員数】

	06年度末	07年度末目標(A)	07年度末実績(B)	前年度比	差(B)-(A)
情報会員数	67	157	97	+30	△60

#### 【07年度「momo通信」でつながったみなさま】

No.	発行日	特集	momoなひと
vol.5	07年 8月31日	NPO 法人こども NPO 事務局長 原京子さん (愛知県名古屋市)	Chappaqua 代表 鈴木健さん(愛知県名古屋市)
vol.6	07年 11月30日	NPO 法人 G-net 理事 佐藤徳昭さん(岐阜県 岐阜市)	白竹木材株式会社 代表 棚橋みさ子さん(愛 知県碧南市)
vol.7	08年 2月29日	NPO 法人コミレスネットこらぼ屋 代表 海山裕 之さん(三重県四日市市)、株式会社三重銀総 研 取締役調査部長 筒井真さん、調査員 馬 場基記さん(同)	常滑屋 代表 伊藤悦子さん(愛知県常滑市)
vol.8	08年 5月31日	雁ぶら物語 代表 吉川富士子さん(愛知県名 古屋市)	NPO 法人まちの縁側MOMO 代表 延藤節子 さん(愛知県名古屋市)

(4) イベントの開催・出展

07年度は、以下の事業を momo レンジャーが中心となって実施しました。

【主なイベント概要】

- ボランティアスタッフ (momo レンジャー) 説明会：地域づくりに関心を持ち、momo の運営に参画する人を募る
- momo トレ (スキルアップ講座)：地域づくりを実践する上で求められるスキルを習得する
- momo bar / momo cafe：momo に関わる人たちが集い、毎回代わるスピーカーからの話題を中心に語り合う
- 融資先訪問ツアー：会員とともに融資先を訪ね、自分たちのお金が地域で回り、地域に活かされていることを実感してもらう

【07年実施イベント一覧】

年月日	イベント名	場所	参加者数	備考
6月16日	第3回 momoトレ「成功する企画のつくり方」	momo 事務所(愛知県名古屋市)	11名	
6月24日	できるエコ! DECOスクール内「エコシフト村」	愛知県青年の家(愛知県岡崎市)	—	ブース出展(来場者:約1,000名)
7月22日	総会記念ワークショップ「momo をめぐる冒険2007」	なごやボランティア・NPO センター(愛知県名古屋市)	14名	ゲストスピーカー:北村周さん、三島真さん(以上、NPO 法人こうじびら山の家)
9月17日	会員限定 momoトレ「人前での話し方」	momo 事務所	4名	
9月23日	環境デーなごや2007	久屋大通公園(愛知県名古屋市)	—	ブース出展
9月30日	第1回 momo bar	大門庵(愛知県名古屋市)	14名	
12月5日	グラミン銀行講演会・パネルディスカッション(東海ろうきん CSR 講座)	東海労働金庫本店(愛知県名古屋市)	80名	主催:東海労働金庫、企画運営:momo

【08年実施イベント一覧】

年月日	イベント名	場所	参加者数	備考
1月12日	第2回 momo bar	空色曲玉(愛知県名古屋市)	15名	スピーカー:大橋弘宜さん(正会員)
3月22日	momo cafe vol.1	momo 事務所	15名	
4月12日	第3回 momo bar	空色曲玉(愛知県名古屋市)	20名	スピーカー:高橋謙二さん(正会員)
4月26日	ボランティアスタッフ(momo レンジャー)説明会	momo 事務所	4名	
4月27日	融資先(石井伸弘さん)訪問ツアー	石井さんの畑(岐阜県本巣郡北方町)	9名	
5月10日	融資先(NPO 法人こうじびら山の家)訪問ツアー	こうじびら山の家(岐阜県郡上市)	19名	
5月17日	momo cafe vol.2	momo 事務所	14名	ゲストスピーカー:水野馨生里さん(NPO 法人ぎふ NPO センター)

#### 4. その他の事業 ※以下の(2)、(3)は、昨年の定時総会後に計画、実施された事業です

##### (1) 全国のNPOバンクとの連携

07年度も全国各地のNPOバンクと連携し、NPOバンクの認知度と社会的信頼の向上に努めました。

07年12月19日の改正貸金業法施行に伴い、個人情報取り扱いやコンプライアンス、内部管理等に関する社内規則を、各地のNPOバンクをネットワークする全国NPOバンク連絡会と協力して作成し、愛知県に提出しました。

また、08年2月2、3日に東京で開催された「第3回全国NPOバンクフォーラム」(主催：第3回全国NPOバンクフォーラム実行委員会)には、momoも実行委員会に名を連ね、1日目・全体会(参加者：251名)の実例報告には代表理事の木村真樹が、2日目・分科会(参加者：129名)には木村と理事の川村友美がスピーカーとして登壇しました。08年度中には報告書が作成され、販売も予定されています。

##### (2) 「平成19年度コミュニティ・ファンド等における統合的先進取組調査業務」の実施

環境省が平成19年度から開始した「コミュニティ・ファンド等を通じた環境保全活動支援促進事業」の実施にあたり、momoはモデル事業を実施するコミュニティ・ファンドのひとつに選定されました。

本事業は、地域の実情に根ざした地域での自発的な環境保全の取り組みを促進することを目的に、平成19年度に(1)環境コミュニティビジネスに投融資を行っているコミュニティ・ファンドを選定し、(2)当該コミュニティ・ファンドが行う環境コミュニティビジネスに係る環境面等の評価及び事業改善に係る助言等(以下「モデル事業」という)に対する支援を行うとともに、(3)モデル事業の過程についての調査・評価・分析を行い、平成20年度以降には、これらの結果に基づき、コミュニティ・ファンド運営者にとって、環境保全活動を支援する際に参考となるガイドラインが策定される予定です。

第2回融資で決定したNPO法人ぎふNPOセンターへの融資は、この事業の枠組みの中で行われました。08年2月23、24日には、本事業の一環で今後収益事業の柱として行うエコツアーの体験や事業評価のワークショップを行うために、事業主体の同センターのスタッフや環境の専門家とともに、事業拠点である岐阜県郡上市白鳥町石徹白地区を訪問しました。

また、本事業のサポートとして、環境省中部環境パートナーシップ(EPO中部)が実施した「環境コミュニティ・ビジネスに融資したNPOバンクのしくみのあり方を検証するためのアンケート」には、32名の正会員のみなさまから回答をいただきました。

##### (3) グリーンプロモーション「エコひいき」(※) 2007 運営事務局への参画

NPO法人地域の未来・志援センター(愛知県名古屋市)、EPO中部運営協議会とともに、運営事務局の構成団体として参画し、募集説明会や選考会などの企画運営に協力しました。

※ 「エコひいき」とは？

リコー中部販売グループが01年12月のリコー中部株式会社の設立を記念してスタートした、中部7県で環境活動を行う市民グループへの助成プログラム。

# 2007 年度決算

## 貸借対照表

コミュニティ・ユース・バンク momo

2008 年 5 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	157,887		
普通預金	3,587,174		
別段預金	17,710,756		
前払費用	60,000		
未収入金	3,911		
流動資産合計		21,519,728	
2 固定資産			
長期貸付金	2,855,484		
固定資産合計		2,855,484	
資産合計			24,375,212
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払費用	17,428		
前受金	300,000		
預り金	10,300		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		397,728	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			397,728
<b>III 純資産の部</b>			
1 出資金		22,480,000	
2 損失準備金		58,106	
3 正味財産		1,439,378	
純資産合計			23,977,484
負債及び純資産合計			24,375,212

収支計算書

コミュニティ・ユース・バンク momo

自 2007 年 6 月 1 日至 2008 年 5 月 31 日

(単位：円)

科目／項目	当初予算 (A)	決算(B)	差額(B)－ (A)	摘要
<b>I. 収入の部</b>				
<b>1 会費・寄付</b>				
1)会費収入	314,000	194,000	△ 120,000	2,000 円×97 名
2)寄付金収入	140,000	351,492	211,492	
<b>2 事業収入</b>				
1)自主企画講座	360,000	127,210	△ 232,790	
2)審査手数料収入	60,000	17,391	△ 42,609	
3)貸付金利息	50,000	52,682	2,682	
4)環境省請負業務 収入	0	5,156,600	5,156,600	平成 19 年度コミュニティ・ファンド等における統合的先進取組調査業務
<b>3 雑収入</b>	5,000	299,310	294,310	受取利息 21,310 円他
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>929,000</b>	<b>6,198,685</b>	<b>5,269,685</b>	
<b>II. 支出の部</b>				
<b>1 事業費</b>				
1)出資金募集	15,000	0	△ 15,000	
2)融資事業	30,000	2,391	△ 27,609	訪問調査交通費
3)講座企画運営	240,000	97,986	△ 142,014	第 3 回全国 NPO バンクフォーラム実行委員会協賛金 30,000 円他
4)環境省請負業務 支出	0	4,702,256	4,702,256	平成 19 年度コミュニティ・ファンド等における統合的先進取組調査業務
5)その他	50,000	0	△ 50,000	
<b>2 管理費</b>				
1)事務所家賃	360,000	360,000	0	事務所家賃 30,000 円×12 ヶ月
2)通信費	120,000	120,146	146	郵送代 87,810 円、電話代 32,336 円
3)印刷製本費	100,000	27,389	△ 72,611	印刷代
4)租税公課	0	70,000	70,000	法人税等
5)雑費	5,000	32,038	27,038	消耗品費 23,928 円他
<b>3 予備費</b>	0	0	0	
<b>当期支出合計(B)</b>	<b>920,000</b>	<b>5,412,206</b>	<b>4,492,206</b>	
<b>当期収支差額(A－B)</b>	<b>9,000</b>	<b>786,479</b>	<b>777,479</b>	



## 純資産変動計算書

自 2007 年 6 月 1 日至 2008 年 5 月 31 日

(単位：円)

摘要	出資金	損失準備金	正味財産	純資産合計
前期末残高	10,620,000	5,424	705,581	11,331,005
当期変動額				
当期収支差額			786,479	786,479
出資金増加額	11,900,000			11,900,000
出資金返還額	△ 40,000			△ 40,000
損失準備金積立額		52,682	△ 52,682	0
当期変動額合計	11,860,000	52,682	733,797	12,646,479
当期末残高	22,480,000	58,106	1,439,378	23,977,484

2007 年 6 月 1 日より 2008 年 5 月 31 日に至る期間の活動報告、貸借対照表、収支計算書、純資産変動計算書を以上の通り報告します。

2008 年 6 月 16 日

コミュニティ・ユース・バンク momo

代表理事 木村 真樹

副代表理事 西井勢津子

副代表理事 野口 奈美

理事 川村 友美

理事 坂本 竜児

## 監査報告書

監査の結果、2007 年 6 月 1 日から 2008 年 5 月 31 日までの第 3 期事業年度の貸借対照表、収支計算書及び純資産変動計算書は、同時点のコミュニティ・ユース・バンク momo の財産及び収支の状況を適正に表示しているものと認めます。

2008 年 6 月 16 日

監 事 瀧谷 耕二

監 事 馬場 英朗